

群馬大学 大学院医学系研究科 医学部医学科
〒371-0034 群馬県前橋市昭和町三丁目39-22
TEL 027-220-7111(代表)

●高次機能統御系

講座	分野	役職	氏名	研究	
脳神経病態生理学	神経生理学	教授	平井 宏和	1.神経細胞間のシナプス形成と可塑性のメカニズム解明 2.ウイルスベクターを用いた神経細胞への選択的遺伝子導入法の開発 3.ウイルスベクターを用いた脊髄小脳変性症の遺伝子治療法開発国の難病に指定されている脊髄小脳変性疾患	
		准教授	中村 和裕		
	助教	細井 延武			
	助教	飯塚 朗			
	助教	今野 歩(兼任)			
	病態病理学	教授	中里 洋一		・脳腫瘍の病理学的解析 ・神経組織抗原に対する抗体作成と病理診断への応用 ・神経組織内の免疫担当細胞の病態生理 ・神経変性疾患の発生機序と病理に関する研究 ・人体病理学における免疫組織化学の応用に関する研究
准教授		横尾 英明			
講師		伊古田 勇人			
助教		田中 優子			
麻酔神経科学	教授	齋藤 繁	・痛みのメカニズムに関する研究 ・麻酔薬の作用メカニズムに関する研究 ・局所麻酔薬の神経破壊作用に関する研究 ・心臓手術後の脳障害に関する研究 ・末梢循環障害に対する血管再生治療の開発 ・気圧障害のメカニズムに関する研究		
	准教授	西川 光一			
	助教	麻生 知寿			
	助教	高澤 知規			
	助教	山田 真紀子			
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授	近松 一朗	1.頭頸部癌におけるセンチネルリンパ節の検出とその臨床応用 2.頭頸部癌に対する癌ワクチンの開発 3.頭頸部癌の微小転移検出の開発 4.前庭代償における中枢でのシグナル伝達に関する研究 5.前庭・小脳ニューロンの電気生理に関する研究 6.視覚刺激による平衡障害に関する研究 7.Video-oculographyに関する研究		
	講師	高橋 克昌			
	講師	高安 幸弘			
	助教	長井 今日子			
	助教	飯田 英基			
	助教	豊田 実			
	助教	岡宮 智史			
脳神経内科学	教授	岡本 幸市	・アルツハイマー病に関する研究 ・筋萎縮性側索硬化症(ALS)の分子遺伝学的ならびに病理学的研究 ・遺伝性神経疾患の遺伝子解析 ・脳の老化およびパーキンソン病の成因とフリーラジカルに関する研究 ・脳血管障害ならびに脳変性疾患の脳循環代謝 ・ジストロフィンならびにその関連物質の研究		
		水野 裕司			
		池田 将樹			
		藤田 行雄			
		田代 裕一			
		高田 しのぶ			
		大沢 天使			
		牧岡 幸樹			
		古田 夏海			
		好本 裕平			
脳神経外科学		平戸 政史	・脳腫瘍の遺伝子解析 ・遺伝子治療の基礎研究 ・虚血性神経細胞死のメカニズムの解明 ・脳血管攣縮のメカニズムの解明 ・パーキンソン病の病態解明と治療法の開発 ・安全な手術支援のための術中モニタリング法の開発		
		石内 勝吾			
		吉田 貴明			
		今井 英明			
		渡辺 克成			
		風間 健			
		嶋口 英俊			
		赤尾 法彦			
		菅原 健一			
	神経薬理学	教授		白尾 智明	1.発生過程における樹状突起スパインの形態形成の研究 2.シナプス機能における細胞骨格の役割に関する研究 3.シナプス機能不全が引き起こす高次脳機能障害(アルツハイマー病、気分障害、統合失調症など)に関する研究
		講師		児島 伸彦	
		助教		山崎 博幸	
		助教		石塚 佑太	
遺伝発達行動学	教授	柳川 右千夫	・神経伝達物質GABAおよびグリシンのはたらきの解明:GABA合成酵素やグリシントランスポーターなどの遺伝子改変動物を作製・解析することにより、脳機能におけるGABA神経伝達あるいはグリシン神経伝達の役割について研究している。 ・視線制御の細胞・神経回路メカニズムの解明:視線制御機構の解明を目指して、前庭神経核や舌下神経前位核のニューロン、神経回路の機能特性について電気生理学的、形態学的、分子細胞生物学的手法を用いて研究している。 ・扁桃体を中心とする情動の神経回路の解明:扁桃体、前頭前野、海馬など恐怖や嫌悪などの情動に関わる神経回路に着目し、情動記憶の獲得、固定、消去機構の分子・神経基盤について研究している。		
	准教授	齋藤 康彦			
	助教	柿崎 利和			
	助教	三輪 秀樹			
分子細胞生物学	教授	石崎 泰樹	・神経系前駆細胞の生存・増殖・分化調節機構の解明 ・神経興奮の制御機構の解明		
	講師	柴崎 貢志			
	助教	倉知 正			
	助教	成瀬 雅衣			

講座	分野	役職	氏名	研究
	神経精神医学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教	三國 雅彦 福田 正人 米村 公江 細成田 耕介 亀山 正樹 栗田 澄江 藤平 和吉 高橋 啓介 武井 雄一 成田 秀幸 青山 義之 酒井 努 服部 卓	<p>[病因研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子研究・・・精神疾患の原因遺伝子を解明する研究。躁うつ病について染色体部位を絞った検討。 ・死後脳研究・・・精神疾患患者の死後脳の病理学的・生化学的検討。 ・神経発達学的研究・・・胎生・幼少期のストレス負荷動物や遺伝子改変動物の行動学的、脳組織学的検討。 <p>[病態研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳画像研究・・・PETによりさまざまな気分障害の脳内糖代謝を検討。また、光トポグラフィ装置によるベッドサイドでの脳血流測定や、三次元MRIやDTIをもちいた脳形態解析を実施。 ・神経内分泌学的研究・・・気分障害におけるデキサメサゾン抑制試験を改良し、ストレス関連の神経内分泌学的病態を検討。診断への応用可能性を探索。 ・神経生理学的病態研究・・・精神疾患の脳機能について、脳波ダイポール解析・事象関連電位・fMRIおよびMEGなどの方法で、神経生理学的な検討。 <p>上記の他、疫学研究(若年認知症研究、少年非行と心的トラウマに関する研究、摂食障害の家族研究、精神免疫学的研究)や治療研究もやっている。</p>
細胞形態・情報統御学(協力講座/生体調節研究所)	代謝シグナル解析分野	教授 准教授 助教 助教	北村 忠弘 石川 巧一 佐々木 努 小林 雅樹	<ol style="list-style-type: none"> 1.視床下部において食欲とエネルギー消費が制御されるメカニズムを分子レベルで解明し、インスリンやレプチンといったホルモン、並びにグルコース、脂肪酸、アミノ酸などの栄養素による中枢性のエネルギー制御機構を明らかにする。 2.膵β細胞の分化、増殖、新生のメカニズムを特異的遺伝子改変動物の作製と、その解析を用いて明らかにし、β細胞の障害を伴って発症する2型糖尿病の新しい治療戦略に役立てる。 3.膵α細胞の調節メカニズムを、α細胞特異的遺伝子改変動物を解析することで明らかにし、2型糖尿病で食後のグルカゴン分泌抑制が障害されるメカニズムを解明することで、新しい機序で作用する糖尿病薬の開発に貢献する。 4.肝臓における糖、脂質代謝調節の分子メカニズムを遺伝子転写のレベルで解明し、糖尿病、高脂血症、脂肪肝といった代謝疾患の成因や病態を明らかにすることで、それらの疾患の新しい治療法、予防法の開発につなげる。 5.寿命と代謝を制御する共通の分子機構を解明し、メタボリック症候群の予防や治療に役立てる。 6.末梢代謝調節に関わる中枢性の制御機構を解明する。
	細胞構造分野	教授 准教授 助教 助教	佐藤 健 原 太一 佐藤 美由紀 坂口 愛沙	<ol style="list-style-type: none"> 1.低密度リポタンパク質の細胞内取り込みメカニズムの研究 2.受精前後における細胞内膜ダイナミクスの研究 3.調節性分泌顆粒の形成、分泌機構の研究 4.細胞の極性形成メカニズムの研究

●器官代謝制御系

講座	分野	役職	氏名	研究
器官代謝制御学	生体構造学	教授 講師	松崎 利行 青木 武生	細胞膜の水チャネルであるアクアポリンを中心とした解析
	病態制御内科学		森 昌朋 石塚 全 山田 正信 岡田 秀一 河村 修 佐藤 哲郎 橋本 貢士 土屋 天文 砂長 則明 柿崎 暁 久田 剛志 山崎 勇一 渋沢 信行	<p>◆内分泌・糖尿病</p> <p>○糖尿病肥満グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.単離ラ氏島及び培養β細胞を用いてインスリン分泌機構の解明と糖尿病状態におけるインスリン分泌不全の成因解明を目指し、将来的には膵島移植による糖尿病治療の基礎となるデータを集めている。 2.新たな食欲抑制物質として当教室において発見したネスファチン-1の作用機構の更なる解明を目指すとともに、その特異的受容体の検索を進めている。 3.レプチン抵抗性の解明をめざし、新たなレプチン抵抗性モデルを作成するとともに、レプチンを用いた新たな治療法の開発を目指して基礎研究を行っている。 4.糖尿病及び肥満者の臨床検体を用いた疾患感受性遺伝子多型性の解析を行うつつある。 <p>○分子遺伝グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病における核内受容体・脳内活性物質を介する内分泌ホモオスターシス機構の役割 ・腫瘍発生分子機構の解明と新たな治療戦略 ・遺伝子診断と遺伝カウンセリング <p>◆呼吸・アレルギー</p> <p>○呼吸器免疫アレルギーグループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝子改変マウスを用いた気管支喘息モデルにおけるG蛋白質共役型受容体の関与に関する研究 2. 細胞内酸化還元状態(レドックス)の気道リモデリングへの関与に関する研究 3. レドックス制御を基盤とした樹状細胞を用いたアレルギー疾患治療の基礎的研究 4. 間質性肺炎や悪性中皮腫におけるケモカインの発現とその役割の解析 5. 気道上皮細胞、平滑筋細胞における脂質メディエーターに対するG蛋白質共役型受容体に関する研究 6. マスト細胞のロイコトリエン産生調節に関する解析

講座	分野	役職	氏名	研究
				<p>○肺がんグループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肺癌の発生・進展に関わる第三番染色体短腕(3p)上の癌抑制遺伝子の探索 2. 肺癌患者における上皮増殖因子受容体(EGFR)変異とゲフィチニブ(イレッサ)感受性の検討及びゲフィチニブ耐性獲得のメカニズムについての研究 3. RNA干渉およびマイクロアレイの手法を用いたKRAS癌遺伝子により制御される標的遺伝子の探索及びそれらの遺伝子の機能解析 4. 肺癌の発症や化学療法の副作用を予測する候補遺伝子多型の探索 5. 進行肺癌患者に対する新規抗癌剤による多剤併用化学療法及び化学放射線療法の第一相・第二相臨床試験 6. 核医学的画像診断法であるFDG-PET, FAMT-PETの肺癌診断及び治療効果判定における有用性の検討 <p>◆消化器・肝臓</p> <p>○分子肝臓グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 増殖因子の肝再生、肝発ガン、肝代謝機構への影響 2. 肝癌の増殖抑制、アポトーシス誘導 3. 薬剤代謝酵素p450とその転写因子CARの研究 4. 肝線維化メカニズムとその抑制 5. 微量金属、特に亜鉛による抗ウイルス効果の誘導 6. phage display systemの肝疾患への応用 7. 原発性胆汁性肝硬変の臨床免疫学的研究 8. NASHの分子生物学的・臨床病理学的研究 <p>○胆膵十二指腸グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 超音波内視鏡下穿刺吸引術(EUS-FNA)による診断能向上について 2. 内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)合併症について比較検討 3. 内視鏡的逆行性膵胆管造影法(ERCP)後膵炎の予防・発症因子について 4. 閉塞性黄疸症例に対する減黄効果に関する胆管ステント選択の検討 <p>○消化器生化学グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大腸疾患シグナル伝達におけるリン脂質代謝の役割 2. 大腸癌増殖における蛋白質脱リン酸化酵素の役割 3. 炎症性腸疾患における肥満細胞の役割 4. 実験大腸炎による新規大腸炎治療薬剤の開発 5. 侵襲の少ない消化管内視鏡検査・治療法の開発 6. 過敏性腸症候群の疫学と医療情報 <p>○上部消化管グループ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下部食道括約筋調節における神経性・液性機序の解明 2. 食道蠕動波発現におよぼす知覚神経の関与の解明 3. 胃電図による胃運動障害機序の解析 4. Helicobacter pyloriの消化管運動とpHにおよぼす影響 5. Nocturnal acid breakthrough発現機構の解明 6. セロトニン受容体の消化管運動におよぼす影響 7. ERCPを応用した胆道・膵癌の遺伝子診断 8. Vater乳頭部運動と総胆管結石の関連 9. Bacterial overgrowthと腹部症状 10. 13C連続呼気テストによる機能性胃腸症の病態解明・治療法の選択 11. 13C連続呼気テストによる新規消化管運動改善剤の開発 12. 食道咽頭内pH・インピーダンスモニタリングによるnon-erosive reflux disease (NERD)・喘息・慢性咳嗽・咽喉頭異常感症の病態解明
泌尿器科学		教授	鈴木 和浩	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前立腺特異抗原(PSA)を使用した前立腺癌スクリーニング 2. 家族性前立腺癌の臨床病理学的特徴解析および遺伝子解析 3. 免疫遺伝子療法(IL-15)を利用した前立腺癌への遺伝子療法の基礎研究 4. 局所進行性前立腺癌に対する内分泌療法・放射線療法併用の意義に関する研究 (厚生労働省がん研究助成金:課題番号14、主任研究者:山中英壽) 5. 骨盤内手術における電気刺激を利用した神経温存法の確立 6. 前立腺癌の再燃機構に関するgrowth factorの役割に関する研究 7. 前立腺組織における血流支配に関する基礎研究
		准教授	伊藤 一人	
		講師	羽鳥 基明	
		講師	柴田 康博	
		重粒子医学 センター講	松井 博	
		助教	小池 秀和	
		助教	関根 芳岳	
		助教	野村 昌史	
		助教	新田 貴士	
		助教	古谷 洋介	
		助教	新井 誠二	
		助教	村松 和道	
		助教	周東 孝浩	
		助教	加藤 春雄	
		助教	宮澤 慶行	

講座	分野	役職	氏名	研究
	産科婦人科学	教授 准教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教	峯岸 敬 中村 和人 伊藤 理廣 篠崎 博光 五十嵐茂雄 青木 宏 岸 裕司 平川 隆史 村田 知美 山下 宗一 笠原 慶充	◆生殖生理分野 ・ヒトFSHLセプター、LHLセプターの異常とその情報伝達経路、疾病(思春期早発症など)との関わりについての研究 ◆癌抑制遺伝子の変異や、病態関連遺伝子のクローニング、卵巣癌遺伝子治療の開発 ◆体外受精研究 胚培養システムの確立と応用を研究 ◆周産期医学 ・羊膜培養系を確立し、再生医療への基礎的研究を開始 ・アドレノメデュリンの周産期疾患における役割についての研究
	臨床薬理学	教授 准教授 助教	山本 康次郎 中村 智徳 荒木 拓也	1.CYP遺伝子多型の人種差や臨床的意義 2.健康食品による酵素誘導 3.麻酔薬の薬物動態の個人差の原因の探索 4.遺伝子多型が抗癌薬の効果・副作用に及ぼす影響の研究 5.薬物治療抵抗性の原因の探索 6.遺伝子多型の迅速判定系の確立
器官機能制御学	生化学	教授 准教授 助教 助教	和泉 孝志 立井 一明 岸本 幸治 大嶋 紀安	・リン脂質分解酵素、生理活性脂質産生酵素、分解酵素の活性制御や生体機能の解明 ・アラキドン酸代謝物であるロイコトリエン、リン脂質性メディエーターである血小板活性化因子(PAF)、マリファナ受容体の生理的リガンドである2-アラキドノイルグリセロール(2-AG)、血清中の主な細胞増殖因子であるリゾホスファチジン酸(LPA)などの生体機能の解明 ・オーファン受容体(GPCR)の新規リガンドとしての新規生理活性脂質の探索 ・質量分析計を用いたプロテオーム、メタボローム研究法の開発
	機能形態学		依藤 宏 村上 徹 多鹿 友喜 上野 仁之	1.筋細胞細胞骨格の解析及びそれらと筋ジストロフィーとの関連 2.骨格筋における小胞輸送の検討 3.重イオンビーム照射に対する骨格筋細胞の反応の解析 4.Zebrafishを用いた初期発生における新規接着分子の探索と機能の解明
	臨床検査医学	教授 助教	村上 正巳 奈良 誠人	1.メタボリック症候群の病態と予防に関する研究 2.内分泌代謝疾患の分子病態に関する研究 3.甲状腺ホルモン活性化機構の研究 4.動脈硬化の指標に関する研究 5.遺伝子診断に関する研究 6.生活習慣病とスポーツ医学に関する研究 7.薬剤耐性機構に関する研究
	整形外科学		高岸 憲二 篠崎 哲也 飯塚 伯 小林 勉 柳川 天志 佐藤 貴久 飯塚 陽一 田鹿 毅 山本 敦史 岡部 興一 割田 敏朗 柳澤 真也	1.地域検診を対象とした腱板断裂の疫学的調査 2.ラット腱板断裂モデルの運動生理学的研究 3.投球障害肩の診断と治療に関わる研究 4.関節リウマチをはじめとする自己免疫疾患の病態解明 5.骨軟部腫瘍の転移における細胞運動能の役割 6.頸椎椎間孔周囲の解剖学的検討 7.人工膝関節置換術における靭帯バランスの評価 8.FDG-PETを用いた股関節周囲筋の筋代謝に関する研究 9.股関節装具の有用性に関する研究 10.股関節変性疾患におけるサイトカインに関する研究 11.人工股関節術後侵襲度の血液生化学的検討 12.新規腫瘍マーカーの探索 13.CTガイド下ラジオ波焼灼術 14.腫瘍転移に関わる分子autocrine motility factor (AMF)の機能解析 15.リンパ節転移を来した軟部悪性腫瘍の検討 16.転移性骨腫瘍を含む整形外科領域腫瘍におけるFDG-PETの有効性の検討 17.骨移植を用いない骨搔爬術の検討 18.骨硬化性病変を示す疾患の検討 19.機能的磁気共鳴画像法(fMRI)を用いた整形外科疾患と中枢神経系の代償メカニズムの解明
	応用生理学		鯉淵 典之 下川 哲昭 岩崎 俊晴 高鶴 裕介	1.動物実験と培養細胞やイーストを用いたin vitro実験を並行して行ない、ホルモンによる脳発達機構の解析 2.液性因子を介する脳発達機構に内分泌かく乱物質がどのような影響を及ぼすのかを解析
遺伝情報・発現学(協力講座/生体調節研究所)	分泌制御分野	准教授	鳥居 征司	1.内分泌細胞のホルモン分泌顆粒の形成、維持、放出機構の研究 2.膵β細胞、神経細胞の生存増殖と細胞死シグナルの研究 3.蛍光、発光プローブを利用した細胞機能および疾患病態の解析
	遺伝生化学分野	教授 講師 助教 助教	泉 哲郎 奥西 勝秀 石崎 玲 松永 耕一	1.動物モデルを用いた、糖尿病、肥満の成因や病態生理 2.分泌顆粒の開口放出機構、特に膵β細胞におけるインスリン分泌機構
	ゲノム科学リソース分野	センター長(兼) 教授 助教	平井 宏和 畑田 出穂 堀居 拓郎	1.グルココルチコイドによる抗炎症作用メカニズムの解析 2.エネルギー代謝依存性のグルココルチコイドレセプターのタンパク修飾と未知エピゲノム制御因子の探索による慢性炎症制御メカニズムの解析 3.炎症とエネルギー代謝の接点における細胞内シグナルクロストークの探索

講座	分野	役職	氏名	研究
	核内情報制御分野	教授 准教授 助教 助教	北川 浩史 佐藤 隆史 沢津橋 俊 諸岡 信克	と核内エピゲノム制御メカニズムのリンクの解析 4.アンドロゲン受容体機能制御メカニズム解析による男性メタボリック症候群の画期的な治療法の開発 5.In vitro並びにin vivoにおける慢性炎症モデルの確立と時期場所特異的なエピゲノム制御メカニズムの探索

●臓器病態制御系

講座	分野	役職	氏名	研究
病態循環再生学	臓器病態内科学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教	倉林 正彦 長谷川 昭 新井 昌史 天野 晶夫 中野 明彦 金古 善明 宇都木 敏浩 岡本 栄一 斉藤 勇一郎 大山 良雄 須賀 達夫	◆循環器研究室 動脈硬化に基づく心血管病の克服 ・遺伝子レベルでの解析を中心に新たな抗動脈硬化薬の創薬につなげる研究 ・心不全の解明と克服を図ることを目的として、Ca ²⁺ ポンプ遺伝子の解析 ・動脈硬化の早期診断に有用なバイオマーカーを探索 ・ポジトロン放射型断層撮像法を用いた高血圧性心臓病症例の心筋代謝の検討 ◆呼吸器研究室 ・肺の加齢性変化の機序、肺細胞の増殖や分化における血管形成因子の役割解析 ・血球細胞の分化研究から肥満細胞の活性化機構およびアレルギー性疾患の病態解析
	臓器病態外科学	教授 助教 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教	竹吉 泉 堀口 淳 高橋 徹 清水 公裕 須納 瀬 豊 茂原 淳 吉成 大介 戸塚 統 中野 哲宏 六反田 奈和	・心、肺保存と移植および移植免疫に関する実験、臓器保存のためのポータブル型冠灌流装置開発、心筋および脳保護法の研究 ・呼吸器外科領域では、肺癌におけるテーラーメイド治療を目的とした抗癌剤の感受性に関する研究や肺癌の発生・進展に関与する遺伝子変異、多型に関する研究 ・乳腺・内分泌外科領域では、in vivo, in vitro, 分子生物学的レベルでの乳癌化学内分泌療法や転移の研究、乳癌組織を用いた免疫組織学的研究、エストロゲンレセプターの分子生物学的解析 ・消化器外科領域では、癌遺伝子・癌抑制遺伝子の発現や遺伝子治療に関する研究、肝・小腸の移植や虚血再灌流障害の実験
	臓器病態救急学		大嶋 清宏 中村 卓郎 古川 和美 萩原 周一	(基礎研究) ・心肺蘇生後の脳保護に関する実験的研究 ・心肺蘇生後の臓器の虚血再灌流傷害のメカニズム解明とその抑制に関する実験的研究 (臨床研究) ・心肺停止症例の予後因子に関する研究 ・多発外傷におけるMDCTの有用性に関する研究 ・歯周病菌が動脈硬化に及ぼす役割に関する研究 ・重症救急病態における栄養管理に関する研究 ・新しいエンドキシン測定法であるEndotoxin Activity Assay (EAA)の臨床的意義に関する研究 ・初期大量輸液を要する重症救急病態における胸腔内血液量および肺血・管外水分量測定の臨床的意義に関する研究 ・重症救急症例における脂質代謝、特にapoC1の変動に関する研究
	眼科学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教	岸 章治 大谷 倫裕 秋山 英雄 佐藤 拓 池田 史子 山口 由美子 橋本 英明 戸所 大輔 山田 教弘 堀内 康史	(基礎研究) ・硝子体の代謝 ・実験的眼新生血管 ・糖尿病網膜症の遺伝的解析 ・電子顕微鏡を使った眼の微細解剖 ・実験動物を使った眼底の微小循環 ・網膜の電気生理 (臨床研究) ・OCTを使った非侵襲的網膜断面像の解析 ・網膜疾患における形態的变化と電気生理的变化の相関性の解析 ・糖尿病網膜症 ・網膜剥離 ・加齢黄斑変性の診断および治療の戦略法の開発 ・高速度フルオレセイン蛍光眼底造影とレーザースペックルを使った眼微小循環の検索 ・眼底疾患を主なターゲットとし、臨床と基礎両方から病態の解明、治療法の開発
病態腫瘍制御学	病態腫瘍薬理学	講師 講師 助教	石川 良樹 中村 彰男 吉山 伸司	・細胞内の情報伝達の理解が、これからの薬物療法の理論的根拠に必要であるとの考えより、カルシウム・イオンの生体制御、特にアクトミオシン系に対する制御を研究している。 ・アクトミオシン系の関与する種々の細胞機能について、カルシウム・イオンの促進と阻害がどのように関わっているか？ 1) 平滑筋、2) 下等核生物のフィザルム、3) 神経細胞の成長円錐に於けるアクトミオシン系を例にとりカルシウム制

講座	分野	役職	氏名	研究
	病理診断学	教授 講師 助教 助教	小山 徹也 佐野 孝昭 瀬川 篤記 井出 宗則	<ul style="list-style-type: none"> ・がん遺伝子ならびにがん抑制遺伝子等のさまざまな遺伝子異常とヒト発がん、特に多段階発がんとの関係を乳癌、消化器癌などで検討 ・乳癌、前立腺癌では前がん病変と癌発生や治療に関連した組織分類に関する研究 ・子宮頸部癌発生に関連するヒトパピローマウイルス(HPV)感染についての研究
	病態総合外科学	教授 准教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教	桑野 博行 浅尾 高行 高橋 篤 持木 彫人 鈴木 秀樹 茂木 晃 堤 荘一 宮崎 達也 佐々木 滋 大野 哲郎 藤井 孝明 高坂 貴行 猪瀬 崇徳 緒方 杏一 田中 成岳 新木 健一郎	<ul style="list-style-type: none"> ◆食道グループ <ul style="list-style-type: none"> 1.道良性腫瘍、早期食道癌の内視鏡的粘膜切除術 2.食道良性疾患および食道癌の鏡視下手術 3.食道良性疾患の生理運動学的研究 4.食道癌の病態に応じた手術療法および手術侵襲 5.Sentinel node navigation surgery 6.食道癌におけるFDG-PETの意義 7.食道癌の生物学的悪性度研究(遺伝子解析,免疫組織学的解析など) ・細胞周期に関わる遺伝子の解明 8.食道癌の遺伝子治療の基礎的研究 ◆胃グループ <ul style="list-style-type: none"> 1.胃全摘術後の消化管再建術の機能評価 2.腹腔鏡による胃切除術の技術開発 3.幽門側胃切除術後のLES機能評価 4.食道癌術後の胃管収縮機能評価 5.幽門輪収縮弛緩のメカニズム解析 6.補助化学療法有効性の検討 ◆大腸グループ <ul style="list-style-type: none"> ・炎症性腸疾患 ・発現量の差のある遺伝子の同定 ・mRNA differential display法 ・RT-PCR screening法 ・直腸癌における放射線感受性を規定する因子 ・放射線療法前と10Gy照射後のBiopsy検体 ・蛋白・mRNAの発現の差異を比較 ・大腸内視鏡時の直腸内残液中DNAスクリーニングの意義 ・癌抑制遺伝子(p53 k-ras)の変異の検出 ・UCの癌化のスクリーニングへの有用性の検討 ・腫瘍のクローン性の検討 ・粘膜に発現している増殖因子 ・固形癌/上皮内癌・CIA ・手技のプロトコール化 ・オートシーケンサを用いたフラグメント解析 ◆肝胆膵グループ <ul style="list-style-type: none"> 1.異種肝移植における免疫学的な研究 2.可溶性HLA抗原による肝細胞癌の増殖抑制メカニズムの検討 3.肝細胞癌における多中心性発癌の抑制 4.膵臓癌の新しい腫瘍マーカー 5.肝切除時の虚血再還流に対するアデノシンの効果 6.胆嚢前癌状態における癌抑制遺伝子の変異 7.肝切除に伴うbacterial translocation 8.NK細胞活性と可溶性HLA抗原 9.大腸癌肝転移における転移機構の解明 ◆呼吸器グループ <ul style="list-style-type: none"> 1.肺癌における遺伝子変異の検索 2.肺癌に対する遺伝子治療 ◆小児外科グループ <ul style="list-style-type: none"> 1.新生児を含む小児消化管機能異常の臨床的、基礎的研究 2.胆道閉鎖症の病態解明 3.肝繊維化進展機構の解明 4.小児固形腫瘍の発生メカニズムの解明
	腫瘍放射線学	教授 教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 助教 助教 助教	中野 隆史 大野 達也(重粒子線医学セン 鈴木 義行 齋藤 淳一 清原 浩樹 加藤 弘之 野田 真永 渋谷 圭 白井 克幸 田巻 倫明 神沼 拓也	<ul style="list-style-type: none"> ・重粒子線治療の基礎的、臨床的研究 ・放射線感受性に関する腫瘍関連遺伝子、細胞増殖因子受容体およびそのシグナル伝達に関する研究 ・放射線誘発アポトーシスとp53その他癌関連遺伝子に関する研究 ・低酸素細胞マーカーによる組織内低酸素細胞と放射線に関する研究 ・悪性腫瘍の診断、治療におけるFDG-PETの有用性の研究 ・前立腺癌、子宮頸癌、肺癌、悪性リンパ腫の放射線治療に関する研究

講座	分野	役職	氏名	研究
放射線診断核医学		教授	対馬 義人	1.CT、MRI、USなどを用いた新しい画像診断技術の開発 2.形態画像と機能画像による病気の診断法の開発 3.画像を用いる病態の解明 4.生理機能の放射線学的解析(ファンクショナルイメージング) 5.インターベンショナルラジオロジー(IVR)による低侵襲治療 6.PETや一般核医学検査のための新しい放射性医薬品の開発 7.標識モノクローナル抗体を用いた腫瘍特異的な核医学治療技術の開発
		准教授	天沼 誠	
准教授	樋口 徹也			
講師	高橋 綾子			
講師	小山 佳成(放射)			
講師	有坂 有紀子			
講師	平澤 聡			
講師	岡内 研三			
		講師	宮崎 将也	
顎口腔科学			横尾 聡 根岸 明秀 笹岡 邦典 大久保 滋郎 狩野 証夫 神野 恵治 中曽根 良樹	1.口腔ケア:口内の不潔により生じる局所的、全身的な疾患の予防と治療、口内環境の有効的な改善方法 2.口腔機能:良性・悪性腫瘍治療後に生じる口腔機能障害に対する評価と改善 3.顎関節疾患:臨床例の分析と効果的な治療法の検討 4.歯原性疾患の検討:歯原性疾患の発生学的検討、審美的顔面形態の回復の研究 5.前癌病変とその癌化:癌化のメカニズムの研究と病態診断法と治療法の検討 6.悪性腫瘍の早期診断に関する検討:転移巣早期発見のための各種検査法の検討
重粒子線医学(協力講座)	センター長	センター長	中野 隆史	-
	物理学部門	教授	金井 達明	-
		助教	遊佐 顕	
		助教	田代 睦	
		助教	島田 博文	
		助教	竹下 英里	
		助教	齋藤 明登	
	医学生物学部門	教授(医学センター)	大野 達也	-
		教授(兼)	鈴木 和浩	
		准教授(兼)	鈴木 義行	
		講師(医学センター)	松井 博	
		講師(兼)	齋藤 淳一	
		助教	齋藤 淳一	
		助教	神沼 拓也	
		助教	清原 浩樹	
		助教	白井 克幸	
		助教	吉田 由香里	
重粒子線医学(キョーリン)部門	客員教授		山田 聡	-
	助教		松村 彰彦	
	助教		久保田 佳樹	
細胞機能解析学	細胞調節分野	教授	小島 至	1.臓器・組織の再生と分化誘導機構の研究 2.カルシウムによるシグナル伝達機構の解明 3.インスリンによる糖取り込み促進機構の解明
		准教授	柴田 宏	
		助教	長澤 雅裕	
		助教	中川 祐子	
	遺伝子情報分野	教授	山下 孝之	1.発がんシグナルが引き起こすゲノム不安定性と細胞老化の解析 2.熱ショック応答系による細胞老化の制御機構の解析 3.細胞性粘菌由来の抗腫瘍因子DIF-1およびDIF誘導体の作用機構解析
		准教授	久保原 禪	
		助教	小田 司	
		助教	関本 隆志	

●環境病態制御系

講座	分野	役職	氏名	研究
生体防御機構学	分子予防医学	教授	磯村 寛樹	・ヒトサイトメガロウイルスを中心とした研究 ・ウイルスゲノムを大腸菌の中で改変する手法を新たに開発。その手法を駆使して種々の遺伝子改変ウイルスを作成して、実際の感染細胞でのウイルス遺伝子の役割を詳細に解析 ・ヒトに感染はするけれども体内では増殖不可能な安全なワクチンを開発
		講師	大上 厚志	
		講師	清水 宣明	
		助教	田中 淳	
細菌学		教授	富田 治芳	1.病原因子(バクテリオシン、付着因子、細胞毒、薬剤耐性)の分子遺伝学的研究。 3.多剤耐性菌の疫学(VRE, MRSA)。 4.薬剤耐性の分子疫学。 5.院内感染症の分子疫学的解析。 6.緑膿菌の膜変化に関する研究。 7.疫学、分子疫学、分子遺伝、生化学的解析に必要な、新たな手法の開発
		教授	久枝 一	・宿主とマラリア原虫の寄生体病原体相互関係(久枝)をマラリアに対する免疫応答を中心に宿主側から検討 ・マラリア原虫の寄生適応の分子メカニズムの解明
		講師	鈴江 一友	
		講師	平井 誠	1.デオキシリボ核酸分解酵素(DNaseI)の転写調節機構に関する基礎的研究 2.ABO式血液型遺伝子の転写調節機構に関する基礎的研究 3.ヘテロポリ酸に関する研究
		助教	今井 孝	
		助教	小湊 慶彦	
		法医学		教授
助教	佐野 利恵			

講座	分野	役職	氏名	研究			
生体統御内科学		教授	野島 美久	1.系球体バリアー機能における上皮細胞の役割 2.腎の線維化と再生機構 3.自己免疫性疾患におけるIL10ファミリーサイトカインの関与 4.SHPS-1/CD47の免疫応答における生理的意義と病的機能の解析 5.透析患者における動脈硬化性病変や副甲状腺機能亢進症の検討 6.リンパ増殖性疾患の病態解明 7.血液疾患におけるクロナリテ解析 8.血小板および凝固異常症における遺伝子異常の解析			
		准教授	廣村 桂樹				
		講師	黒岩 卓				
		助教	内海 英貴				
		助教	斉藤 貴之(腫瘍センター)				
		助教	横浜 章彦(臨床研修センター)				
		助教	前嶋 明人				
		助教	松本 孝之				
		助教	三井 健揮				
		助教	外山 耕太郎				
		助教	小川 孔幸				
		助教(病院)	櫻井 則行				
		助教(病院)	小磯 博美(腫瘍センター)				
		小児科学			教授	荒川 浩一	◆アレルギー・免疫・呼吸器グループ ・喘息の病態に係わる気道炎症の分子生物学的解明 ・気道過敏性の病態に係わる諸因子の解明 ・アレルギー疾患発症に係わる胎内・胎外因子の解明 ◆内分泌グループ ・ホルモン不応症や小児内分泌/代謝疾患の分子生物学的解析 ◆消化器グループ ・消化管ならびに免疫機構の発達と疾病の病態生理の解明 ◆血液・腫瘍グループ ・小児白血病における幹細胞移植とその臨床的研究 ◆心臓グループ ・川崎病の免疫学的研究
					准教授	滝沢 琢己	
講師	大木 康史						
講師	岡田 恭典						
講師	渡部 登志雄						
助教	山田 思郎						
助教	河野 美幸						
助教	金澤 崇						
助教	小林 靖子						
助教	澤浦 法子						
助教	小林 徹						
助教	羽鳥 麗子						
助教	石毛 崇						
皮膚科学		教授	石川 治	1.全身性強皮症におけるhypoxia-inducible factor (HIF)の役割 2.全身性強皮症におけるconnective tissue growth factor (CTGF)の役割 3.創傷治癒過程における細胞内シグナリングと細胞骨格形成の解析 4.Sphingolipidによる細胞外マトリックス制御機構の解析 5.アトピー性皮膚炎と精神的ストレスに関する研究 6.アトピー性皮膚炎の自然免疫に関する研究 7.皮膚硬化モデルマウスの作製と線維化の機序・制御に関する研究 8.RT-PCR法による皮膚癌の微小転移巣の検索 9.遺伝性皮膚疾患ならびに皮膚腫瘍の遺伝子解析 10.膠原病とウイルス感染の研究 11.皮膚腫瘍とウイルス感染の研究 12.悪性黒色腫における血管新生制御機構の解析 13.全身性強皮症の末梢循環障害に関する研究 14.全身性強皮症におけるエピジェネティクス解析 15.皮膚における生理活性脂質の役割			
		准教授	永井 弥生				
		講師	安部 正敏				
		講師	天野 博雄				
		助教	清水 晶				
		助教	岡田 悦子				
		助教	田子 修				
		助教	茂木 精一郎				
		助教	服部 友保				
		臨床助教	山田 和哉				
		社会環境医療学	公衆衛生学		教授	小山 洋	1.セレン強化ブロッコリースプラウトの抗がん作用の検討 2.セレンとカドミウムの相互作用機構の解明 3.セレン補充研究:PSAを指標とした前立腺がん予防効果の検討 4.ウィルソン病の新しい診断方法の開発:HPLC-ICP-MSによる血清・血漿銅の分別定量 5.小児アレルギー疫学調査 6.こもいせ研究(中高年者のコホート研究.死亡・罹病への心理社会的リスク要因の検討) 7.自殺予防のためのうつスクリーニング調査(群馬県との共同研究) 8.人口動態統計を利用した研究:前立腺がんのage-period-cohort (APC)モデル解析
					准教授	中澤 港	
					助教	亀尾 聡美	
					助教	山崎 千穂	
					医学哲学・倫理学	服部 健司	
リハビリテーション医学		教授	白倉 賢二	1.リハビリテーション効果の定量的評価 2.Functional capacity evaluation法の開発 3.物理刺激が運動器に及ぼす細胞生物学的影響の研究(動物実験) 4.超音波診断装置による運動器疾患の診断 5.運動療法が精神に及ぼす影響の研究			
		講師	和田 直樹				
		助教	宗宮 真				
		助教	入内島 崇紀				
生体情報学(協力講座/生体調節研究所)	シグナル伝達分野	教授	岡島 史和	1.脂質性メタボリックシンドロームの役割と作用機構の解析 (1)高密度リポ蛋白質(HDL)の多機能性とS1P (2) 受容体を標的とした薬剤とその応用 2.細胞外pHを感知する新しいG蛋白共役受容体システムの解析			
		准教授	佐藤 幸市				
		助教	茂木 千尋				

講座	分野	役職	氏名	研究
	バイオシグナル分野	准教授	大西 浩史	1.チロシン脱リン酸化酵素を中心とした蛋白質チロシンリン酸化シグナル伝達系の機能と作用機構に関する研究 2.新規細胞間シグナル伝達系CD47-SIRP α 系の生理機能に関する研究 3.R3タイプ受容体型チロシンホスファターゼファミリーの生理機能に関する研究
	分泌制御分野	准教授	鳥居 征司	1.内分泌細胞のホルモン分泌顆粒の形成、維持、放出機構の研究 2.膵 β 細胞、神経細胞の生存増殖と細胞死シグナルの研究 3.蛍光、発光プローブを利用した細胞機能および疾患病態の解析